



校報

水糸者

No. 1314

元年度・第173号

198人全員で令和元年度を修了！



◇ 皆様からのご協力とご支援に感謝と御礼 ◇



予想外の「臨時休業」のため、約20日ぶりの登校となった子ども達。

久しぶりの登校ではじめは戸惑いの様子も見られましたが友だちと再会し、また教室の黒板に書いてあった担任からのメッセージに、いつもの種小っ子に戻っていました。

色々な事が発生した（発生中）令和元年度も今日の修了式をもって無事終了しました。

この1年で、種小っ子達は『真面目な心』や『思いやりの心』といった、それまで持っていた

財産の他に『挑戦する心・チャレンジする心』も確実に備わりました。各種イベントを通し『自信と誇り』も確実に高まったと、手ごたえを感じています。それは、好きな事とことんやり続けたことだけでなく、苦手な事やできない事に対しても、逃げずに正面からやり続けた結果、身についた財産です。やり遂げた事で子ども達は、日々『自己肯定感』が高まって行きました。

成功体験の積み重ねが「やればできる」、「次も挑戦したい」といったような『自己肯定感』の高まりにつながったと思われます。

校是の「知徳の方向あやまらず進め」の通りとなったこの1年間で種小っ子達は、頭と心・体を一回り成長させることができました。久しぶりの登校の日が1年間の最後の日「修了式」となっても落ち着いて式に参加していた子ども達から、この1年間の本校の、心と頭、体に代表される『幹』の教育活動の確かさと、この20日間ほどの家庭や地域でのしっかりとした過ごし方が伝わって来ました。

〔修了証書授与代表児童〕

- 1 学年代表 … 山田ひまりさん
- 2 学年代表 … 江莉 元貴さん
- 3 学年代表 … 梨子ことはさん
- 4 学年代表 … 斉藤 愛さん
- 5 学年代表 … 番沢 珠吏さん



この1年間、しっかり頑張ってきた種小っ子は、20日間余りの『臨時休業』にも動揺も見せずに、1年間の締めくくりの式、「修了式」に凛とした姿で臨んでいました。

感染予防のため、時間短縮を図ったほか、全員がマスク着用し、隣との間隔も十分にとっての式となりました。

修了式後に、関養護教諭からはコロナウィルス予防についての話がありました。



修了式の日の朝の様子



黒板のメッセージに集まっていた登校したての子ども達



各学級の黒板には、子ども達との久しぶりの再会と全員の進級を喜ぶ担任のメッセージがびっしりと書かれていました。

久しぶりの友との再会に歓声をあげる子ども達。
静まり返っていた校舎がまたにぎやかになりました。



〔修了式・校長式辞（要旨）〕

みなさんの元気な姿に会えて、そして令和元年度種市小学校修了式ができた事をととてもうれしく思います。

まだ「平成」時代であった4月に比べ、皆さんは心も体も、頭も大きくなりました。どうしてかという、うそとつかないで、ごまかさないで今日までしっかりと頑張ったからです。そんな皆さんの姿をととてもうれしく思います。

さすが種市小学校の子ども達です。

今、日本では、日本人誰もが初めて経験するような出来事に見舞われています。

『コロナウィルス感染症』の事です。まだまだ感染が収まっていません。日本だけでなく、世界中のお医者さんや科学者がこのコロナウィルス感染症の薬を発見しようと頑張っていますが、残念ながらまだそのような薬が見つかっていません。

だから皆さんには防ぐような発明や発見をして、もっともっと暮らしやすい世の中を作ってほしいと思います。

そのためには、

これからも、一生懸命勉強して、大きな頭を作ってほしいと思います。

体を鍛えて、疲れにくい丈夫な体を作ってほしいと思います。

困っている人にやさしくあげられる暖かい心を持ってほしいと思います。

そして、お父さんとお母さんからいただいた、大切なたった一つしかない『命』を大切にしていってほしいと思います。



教室の黒板に書いてあった担任の先生からのメッセージは、「みんなに会えるうれしさ」と「20日間ぐらい会えなかったさみしさ」、「進級へのお祝い」などの気持ちを込めて担任の先生方が書いていました。みんなの事を心から考えてくれている担任がいた事も忘れずに、次の学年でもしっかりと頑張ってください。

今年は多くのことを学んだ192日間だったと思います。

5年生の皆さんは、いよいよ種小の最高学年となります。種小をもっともっと良い学校にするために、しっかりと頑張ってください。5年生の皆さんの事を信頼しています。

種小を頼みます。